

「二要素認証システム更新・運用保守業務」提案書作成要領

1 提案書の作成に係る基本事項

(1) 様式

A 4横 2穴フラットファイル綴じ

※ファイル表面には、事業者名・タイトル等の記載、貼付は行わず、1ページ目に、「二要素認証システム更新業務提案書」、「提出日」、「事業者名」を記載する。次ページは「目次」とし、その次ページから本題とすること。

(2) 枚数

提案書は表紙・目次を除き両面印刷の15枚(30ページ)以内とし、簡潔かつ明瞭に記述すること。提案書とは別の資料提出は認めない。

2 提案書構成

次の(1)～(12)の順に模式図や画面イメージを用いて明確に記述すること。

(1) 実施体制

システム導入における実施体制について、以下の項目の通り記述する。

ア 実施主体の事業者名や役割分担、要員、資格、システム導入体制(体制図)、システム稼動直後の支援体制、システム保守管理体制、年度更新作業が想定される場合の支援体制等について記述する。

イ 協力連携事業者がいる場合、事業者名や役割分担、要員、資格、システム導入体制等について記述する。

(2) 実績

本業務に提案事業者が適していると評価できる実績、経歴等を記述する。また、協力連携事業者がいる場合、システム導入・運用保守業務等の実績、経歴等について記述する。

(3) システム導入について

ア システム導入に関する全体方針について記述する。

イ 提案内容を実現するために協力連携事業者や本市と共どのようにプロジェクトを遂行していくのか、進捗管理、プロジェクト管理方法、プロセス、コミュニケーション管理方法等について記述する。

ウ 優先交渉権者決定後から仮稼働や本稼働日までの導入スケジュールについて作業内容を明確化し、具体的に記述する。また、本市が考えるスケジュールと異なるスケジュールを示す場合、職員負担を軽減する手法も記述すること。なお、リスクがあるポイントがある場合は、具体的な内容と現実的な対応策を記述すること。

(4) 提案システムについて

- ア 提案するシステムの概要、特徴、特性、導入効果、仕様書への適合性等を記述すること。
- イ システムの動作環境を記述する。また、運用保守業務期間内において、最新クライアント OS の導入や最新ブラウザへの更新が行われた場合における対応手法、解決手段について記述すること。
- ウ 認証機能の操作性や利便性に関する事項について記述すること。特に以下について記述すること。
 - ・離席時等のロック機能、解除機能等については業務に影響がないように運用
 - ・認証精度（例：眼鏡・マスク着用時の顔認証の認証精度）
 - ・セキュリティ確保（なりすまし防止等）は十分か
- エ 提案する認証方式のメリット・デメリットについて記述すること。また、提案する認証方式の選定理由について記述すること。

(5) システム機器構成

- ア システムを構成する機器の選定基準や、特徴、性能（処理能力）などを、信頼性、拡張性、情報セキュリティも踏まえてわかりやすく記述すること。また、各システムの性能（処理能力）については、算出の根拠（利用頻度や件数など）を具体的に記述すること。
- イ システムを構成する機器の全体構成図、ラック構成図を記述すること。

(6) 受託者と本市の作業区分

- ア システム導入における、受託者と本市との作業区分、役割分担について記述すること。また、システム導入における職員の負担を軽減する手法があれば記述すること。
- イ システム運用保守業務期間における、受託者と本市との作業区分、役割分担について記述すること。また、システム導入における職員の負担を軽減する手法があれば記述すること。

(7) 安定稼働について

- ア 安定稼働について、冗長構成、障害監視手法、データバックアップ手法などについて記述すること。
- イ 本業務開始から安定運用するまでの間におけるサポート内容について記述すること。
- ウ システム運用保守業務期間における管理体制について記述すること。

- エ 最適な運用手法等における技術的助言、及び調査等に対する協力内容について記述すること。
- オ 職員が行う年次切り替え等、ユーザ情報（所属等）及び権限の一括登録・変更処理について記述すること。また、各課登録作業における登録方法について記述すること。

(8) システム運用保守業務について

- ア システム運用保守業務における、稼働監視、障害管理、ハードウェア・ソフトウェア保守及び管理方法、及び方針について記述すること。
- イ システム運用保守業務期間における、オペレーション内容について記述すること。
- ウ 本業務に問題や障害が発生した場合の対応について記述すること。
- エ システム運用保守業務期間における、報告手法や内容について記述すること。

(9) 次期システムへの移行支援について

- 次期システムへの移行内容、設定情報提供方法等について記述すること。

(10) 追加提案等

- 提案額の範囲内もしくは有償（オプション）で、本市に有益な提案等があれば記述する。仕様書の内容以外にシステム構築、利用、運用管理する上で本市に有用な提案事項等がある場合、具体的に記述すること（追加費用が発生する場合は費用について明示すること）。